



# SVC新聞3月号

☆☆☆ <http://shinmachi-sc.org/club01.html> ☆☆☆

## 出る杭を伸ばそう

代表指導者 小出利一

日本に昔からある格言として「出る杭は打たれる」があります。この格言がある限り日本の成長はありません。この格言の意味は、「才能がある人は妬み、憎まれる。」または「少し恵まれた環境や人と違うことをする人は非難され、制裁を受ける」という意味です。この言葉に代表される、妬みやいじめ社会がまん延してしまった日本だから他の先進国が、この30年間給与所得が大幅に伸びているのに、日本は30年間ほぼ伸びない国になっていると大阪大学の経済学者が論文を発表しました。

北京オリンピックでは、羽生選手、平野選手、岩淵選手が世界で誰も挑戦したことがない技に挑戦して、成功してもしなくても、その姿勢を選手同士が称賛していました。東京オリンピックのスケートボードの時も同じ光景がありました。

しかし、この選手たちの拠点の多くが残念ながら外国です。研究者も先進的な研究をしている人の拠点は外国です。その理由は、日本には「出る杭は打たれる」風潮があるからと昨年ノーベル物理学賞を受賞した眞鍋教授も談話として発表しました。

挑戦する姿勢がある人を「勇気がある人」として評価できる風潮に大人が変えて日本の未来を背負ってもらおう青少年に「出る杭を伸ばす」ようになったことを感じてもらわないと「変化を好まない、悪しき前例主義病」に侵されて停滞してこのまま活力を失うことになります。

私自身、全国に先駆けてスポーツ少年団の県リーダー会を19歳で立ち上げ、20歳代後半には県スポーツ少年団役員になりました。群馬県初の総合型地域スポーツクラブも設立しました。また、本業でも国鉄職員時には旅客営業部門最高の栄誉となる「旅客局長賞」を2度も受賞出来ました。大学病院時代は、全国44国立大学最初の「診療情報管理士」の有資格医事課長でした。これは全て、周囲で応援してくれる人がいてくれたおかげ様です。もちろん、周囲の人すべてが応援してくれたわけではありません、当然、妬まれて嫌な思いもたくさんしましたが、それでも支えてくれた人達のお陰様で前に進みました。

子どもから思春期になる青少年期には、たくさん挑戦ができる環境と失敗を糧とすることが重要と感じてもらう環境が大切です。そのことをトップアスリートが示してくれました。私は、今後も挑戦しようとする青少年を応援し続けます。

### 【特別事業】

3月13日(日) スキー教室 みなかみ町宝台樹スキー場

### 【通常活動】

3月6日・20日・27日の毎週日曜日 10時～12時

高崎市立新町第一小学校体育館&校庭

※3月6日については、まん延防止措置による活動休止が解除になった場合実施

服装・持ち物：スポーツに適した服装(伸びない素材は危険)、飲み物、タオル、  
体育館シューズ